

「超長期エネルギー技術研究会・超長期エネルギー技術戦略研究会」委員会  
(平成16年10月発足)

(五十音順・敬称略)

- 委員長：秋山 守 (財)エネルギー総合工学研究所 理事長
- 委員：赤井 誠 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
分散システムグループ グループ長
- 太田 健一郎 横浜国立大学大学院 工学研究院 教授
- 小野 透 新日本製鐵(株) 技術総括部エネルギー技術グループ  
グループリーダー
- 柏木 孝夫 東京農工大学大学院 共生科学技術研究部 教授
- 佐田 豊 (株)東芝 研究開発センター 機械・システムラボラトリー室  
室長 (平成17年3月まで)
- 杉山 大志 (財)電力中央研究所 社会経済研究所  
温暖化防止政策の分析と提言 重点課題責任者
- 大聖 泰弘 早稲田大学 理工学術院機械工学科 教授
- 堤 敦司 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 助教授
- 任田 隆夫 松下電器産業(株) コーポレートR&D戦略室 参事
- 西尾 茂文 東京大学 生産技術研究所 教授
- 藤村 皓太郎 三菱重工業(株) 技術本部 主任 (平成17年4月から)
- 星 博彦 トヨタ自動車(株) BRエネルギー調査企画室  
シニアスタッフエンジニア
- 正田 英介 東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 教授
- 松井 一秋 (財)エネルギー総合工学研究所 研究理事
- 山地 憲治 東京大学大学院工学系研究科 電気工学専攻 教授

事務局：(財) エネルギー総合工学研究所

「超長期エネルギー技術研究会・超長期エネルギー技術戦略研究会」全体WG

(平成16年10月発足)

(五十音順・敬称略)

- 主 査：赤井 誠 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
分散システムグループ グループ長
- 委 員：荻本 和彦 電源開発(株) 経営企画部 調査役 (平成16年11月から)
- 奥住 直明 (株)東芝 電力・社会システム社 技術管理部 部長  
(平成17年4月から)
- 奥村 憲博 (財)日本エネルギー経済研究所 企画事業ユニット  
総合企画グループ グループマネージャー
- 近藤 康彦 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
主任研究員 (平成16年11月から)
- 佐田 豊 (株)東芝 研究開発センター 機械・システムラボラトリー室  
室長 (平成17年3月まで)
- 重富 徳夫 (株)三菱総合研究所 産業・市場戦略研究本部 主任研究員
- 杉山 大志 (財)電力中央研究所 社会経済研究所  
温暖化防止政策の分析と提言 重点課題責任者
- 瀬戸口 泰史 みずほ情報総研(株) ビジネスイノベーション部  
環境戦略ソリューション室 室長
- 槌屋 治紀 (株)システム技術研究所 所長 (平成17年1月から)
- 堤 敦司 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 助教授
- 当麻 潔 大阪ガス(株) 環境部 地球環境チーム 課長
- 西尾 茂文 東京大学 生産技術研究所 教授
- 藤村 皓太郎 三菱重工業(株) 技術本部 主任
- 本多 隆 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構  
エネルギー対策推進部 統括主幹  
(平成17年3月から7月まで)
- 事務局：(財) エネルギー総合工学研究所

「超長期エネルギー技術研究会・超長期エネルギー技術戦略研究会」民生分野WG  
(平成17年2月発足)

(五十音順・敬称略)

- 主 査：荻本 和彦 電源開発(株) 経営企画部 調査役
- 副主査：当麻 潔 大阪ガス(株) 環境部 地球環境チーム 課長
- 委 員：赤井 誠 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
分散システムグループ グループ長
- 伊香賀 俊治 慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授
- 石川 敏郎 松下電器産業(株) 東京支社 渉外グループ 担当部長
- 大坪 勝治 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構  
省エネルギー技術開発部 専門研究員
- 嘉藤 徹 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
燃料電池グループ 主任研究員
- 康 倫明 (株)ダイキン環境・空調技術研究所 主席研究員
- 杉山 大志 (財)電力中央研究所 社会経済研究所  
温暖化防止政策の分析と提言 重点課題責任者
- 田村 徹也 日本電気(株) ニューソリューション開発本部  
環境情報事業推進グループ マネージャー
- 羽鳥 浩章 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
エネルギー貯蔵材料グループ グループ長
- 山下 ゆかり (財)日本エネルギー経済研究所  
計量分析ユニット兼地球環境ユニット ユニット総括  
研究主幹 (平成17年4月から)

事務局：(財) エネルギー総合工学研究所

「超長期エネルギー技術研究会・超長期エネルギー技術戦略研究会」運輸分野WG  
(平成17年2月発足)

(五十音順・敬称略)

- 主 査：瀬戸口 泰史 みずほ情報総研(株) ビジネスイノベーション部  
環境戦略ソリューション室 室長
- 副主査：重富 徳夫 (株)三菱総合研究所 産業・市場戦略研究本部 主任研究員
- 委 員：赤井 誠 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
分散システムグループ グループ長
- 秋葉 悦男 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
総括研究員
- 大坪 勝治 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構  
省エネルギー技術開発部 専門研究員
- 椎名 孝則 (株)本田技術研究所 栃木研究所 ER1ブロック  
主任研究員 (平成17年6月から)
- 広田 寿男 日産自動車(株) 技術企画部 シニアエンジニア  
(平成17年6月から)
- 星 博彦 トヨタ自動車(株) 第1材料技術部 燃料油剤室  
シニアスタッフエンジニア

事務局：(財) エネルギー総合工学研究所

「超長期エネルギー技術研究会・超長期エネルギー技術戦略研究会」産業分野WG  
(平成 17 年 2 月発足)

(五十音順・敬称略)

- 主 査：堤 敦司 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 助教授
- 副主査：近藤 康彦 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
主任研究員
- 委 員：赤井 誠 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
分散システムグループ グループ長
- 奥村 憲博 (財)日本エネルギー経済研究所 企画事業ユニット  
総合企画グループ グループマネージャー
- 小野 透 新日本製鐵(株) 技術総括部エネルギー技術グループ  
グループリーダー
- 菊地 宣 (財)化学技術戦略推進機構 戦略推進部 部長研究員  
(平成 17 年 7 月から)
- 二瓶 啓 日本製紙連合会 常務理事 (平成 17 年 7 月から)
- 宗像 鉄雄 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
分散システムグループ 主任研究員
- 渡邊 裕 新日本空調(株) 技術研究所 副所長  
元(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構

事務局：(財) エネルギー総合工学研究所

「超長期エネルギー技術研究会・超長期エネルギー技術戦略研究会」転換分野WG  
(平成17年2月発足)

(五十音順・敬称略)

- 主 査：藤村 皓太郎 三菱重工業(株) 技術本部 主任
- 副主査：篠原 和太郎 (株)東芝 電力・社会システム社  
電力・社会システム技術開発センター グループ長  
(平成17年4月から)
- 委 員：赤井 誠 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
分散システムグループ グループ長
- 荒谷 復夫 (株)資源総合システム 技監  
元(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構  
(平成17年3月から)
- 石井 格 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
総括研究員 (平成17年3月まで)
- 荻本 和彦 電源開発(株) 経営企画部 調査役
- 佐田 豊 (株)東芝 研究開発センター 機械・システムラボラトリー室  
室長 (平成17年3月まで)
- 平井 秀一郎 東京工業大学 炭素循環エネルギー研究センター 教授
- 山口 浩 (独)産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門  
エネルギーネットワークグループ グループ長  
(平成17年4月から)
- 和坂 貞雄 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 環境技術開発部  
部長

事務局：(財) エネルギー総合工学研究所

## 超長期エネルギー技術戦略研究会 活動記録

### 【委員会・WG等】

月／日	会議名 ( )内は開催回数	主な議題
4/22(金)	民生分野 WG (1)	ロードマップ作成作業について
4/25(月)	産業分野 WG (1)	鉄鋼・化学分野ロードマップについて
4/28(木)	全体 WG (1)	中間骨子案、モデルシミュレーション、主要ロードマップについて
5/11(水)	全体・分野別合同 WG (1)	シナリオ分析、モデルシミュレーション、主要ロードマップ案について
5/13(金)	運輸分野 WG (1)	主要ロードマップ・技術マップ作成について
5/16(月)	民生分野 WG (2)	分野別目標、主要ロードマップについて
5/19(木)	産業分野 WG (2)	産業分野ロードマップについて
5/23(月)	全体 WG (2)	分野別主要ロードマップについて
5/30(月)	委員会 (1)	中間報告骨子、主要ロードマップ概要について
6/ 2(木)	全体・分野別合同 WG (2)	ロードマップ詳細版作業について、エクセル計算シートによるCO2/GDPについて
6/ 7(火)	民生分野 WG (3)	詳細ロードマップについて、家庭需要計算シートについて
6/ 9(木) ～10(金)	国内調査(電源開発、三菱重工長崎研究所)	石炭焚 USC、鹿町ウインドファーム、三菱重工長崎研究所(石炭技術、風車、SOFC など)、諫早太陽電池工場
6/14(火)	運輸分野 WG (2)	技術マップ作成作業について
6/20(月)	全体・分野別合同 WG (2)	ロードマップ概要版確認、今後のスケジュールと作業内容の確認、Mix ケース試算、シミュレーション結果など
6/22(水)	民生分野 WG (4)	詳細ロードマップ進捗確認、エネルギー消費マクロシミュレーションについて
7/ 4(月)	全体 WG (3)	技術ビジョン(案)、ロードマップ概要版・詳細版(案)について
7/ 8(金)	委員会 (2)	技術ビジョン(案)、詳細ロードマップ(案)について
7/ 8(金)	産業分野 WG (3)	産業分野詳細ロードマップの検討
7/13(水)	運輸分野 WG (3)	詳細ロードマップについて、既存目標値とバックキャスト目標値について
7/22(金)	産業分野 WG (4)	詳細ロードマップ案について
8/ 3(水)	全体 WG (4)	分野別詳細ロードマップの検討
8/19(金)	民生分野 WG (5)	省エネ寄与度試算、詳細ロードマップ案について

8/24(水)	委員会 (3)	超長期エネルギー技術ビジョンのとりまとめについて
11/14(月)	国内調査 (RITE)	RITE プログラム研究開発成果報告会
3/20(月) ～24(金)	海外調査 (スペイン)	2nd IPCC meeting on New Emission Scenarios、EMP22 WG ミーティング
3/29(水)	委員会 (4)・全体 WG (5)	報告書案について、その後の動向報告

※この他、各 WG 打合せ、事務局打合せ、および大学、企業等へのヒアリングを実施した。

#### 【意見交換等】

月／日	件名	内容
4/22(金)	運輸分野意見交換会	WBCSD Mobility 2030 との情報交換 (本田、日産、トヨタ)
12/20(火)	EDF/IAE 情報交換	超長期エネルギー技術ビジョンおよび欧州におけるエネルギー政策、技術動向等に関する情報交換
1/25(水)	Renault との情報交換	超長期エネルギー技術ビジョンおよび Renault 長期技術戦略等に関する情報交換

#### 【国の委員会等】

月／日	件名	内容
7/27(水)	産業構造審議会 産業技術分科会 第 12 回研究開発小委員会	エネルギー分野の技術戦略マップ(案)について <a href="http://www.meti.go.jp/committee/materials/g50809aj.html">http://www.meti.go.jp/committee/materials/g50809aj.html</a>
10/ 5(水)	産業構造審議会 産業技術分科会 第 13 回研究開発小委員会	技術戦略マップ(エネルギー分野)～超長期エネルギー技術ビジョン～、技術戦略マップ(エネルギー分野)のローリングの考え方(案)について <a href="http://www.meti.go.jp/committee/materials/g51013aj.html">http://www.meti.go.jp/committee/materials/g51013aj.html</a>
10/19(水)	産業構造審議会環境部会 地球環境小委員会 将来枠組み検討専門委員会(第11回)	技術戦略マップ(エネルギー分野) ～超長期エネルギー技術ビジョン～ <a href="http://www.meti.go.jp/committee/materials/g51124gj.html">http://www.meti.go.jp/committee/materials/g51124gj.html</a>



【対外講演など】

月／日	学会名	場所	発表者	タイトル
8/26(金)	エネ総工研 月例会	航空会館	蘆田	エネルギー分野の技術戦略マップ の検討状況(策定にあたっての考え方)
10/3(月)	エネ総工研 第21回エネルギー総合工 学シンポジウム	経団連会 館	赤井	超長期の視点からのエネルギー技 術開発戦略
10/10(月)	GLOBAL 2005 Intl. Conf. on Nuclear Energy Systems for Future Generation and Global Sustainability	つくば 国 際会議場	赤井	Long-term Energy Technology Development Strategy Planning
10/17(月)	科学技術振興機構 第5回コプロワークショップ「コ プロタクションによる革新的 省エネルギーと新産業 創生」	東京大学 山上会館	蘆田  蘆田・ 赤井	超長期エネルギー戦略  パネルディスカッション「我が国 のエネルギー・環境技術戦略」
11/9(水)	CCT(クリーン・コール・ テクノロジー)懇談会		蘆田	超長期エネルギー技術ビジョンにつ いて
11/11(金)	内閣府・国立環境研 公開シンポジウム「温暖化研 究最前線:気候変動と温暖 化対策研究への日本の取 組」	三田共用 会議所	赤井	METI 超長期エネルギー技術ビジ ョン
11/16(水)	Asian Congress on Gas Turbines 2005	韓国 ソウル	小川 (IAE)	日本のエネルギー戦略 (超長期エネルギー戦略についても概要 を紹介)
11/17(木)	IEA - CERT 6th Meeting of Ad Hoc Group on Science and Energy Technologies (AHGSET)	ORNL	赤井 蘆田	Strategic Technology Roadmap (Energy Sector) Energy Technology Vision 2100
11/25(月)	産総研 第3回水素エネルギー シンポジウム	新霞ヶ関 ビル	赤井	超長期エネルギー戦略と今後のエ ネルギー技術研究開発のゆくえ
11/29(金)	産業創造研究所 「技術の変化と新産業構造 に関する研究会」第3回エ ネルギー・地球環境問題研 究会	産業創造 研究所	赤井	2100年までを視野とした超長期エ ネルギー技術ビジョンについて
12/1(木)	科学技術振興機構 「総合科学技術会議科学 技術連携施策群タスクフォ ース(2)水素エネルギー/ 燃料電池に係わる社会受 容性」第1回会合	科学技術 振興機構	赤井	超長期エネルギー技術ビジョンなど からみた水素エネルギーへのイン プリケーション
12/7(水)	みずほ情報総研・J-Power GHG ソリューションズ 第18回勉強会	みずほ情 報総研	赤井	CO2 隔離技術と排出権 (超長期エネルギー技術ビジョンにおける CCS の役割についても論じる)

1/26(木)	FC Expo 2006 専門技術セミナー	東京ビッグサイト	赤井	水素エネルギー社会へ向けてのシナリオ
1/27(金)	エネルギー・資源学会 第22回エネルギーシステム・ 経済・環境コンファレンス	虎ノ門パ ストラル	赤井	持続可能な社会に向けた二酸化炭 素回収隔離技術の意義 (超長期エネルギー技術ビジョンにおける CCSの役割についても論じる)
1/27(金)	東京大学「エネルギー問 題・地球環境問題を考 える」・パネルディスカッション	東京大学 (駒場)	蘆田 赤井	我が国のエネルギー政策と今後の 展望 超長期エネルギー技術ビジョン
2/8(水)	産業研究所 「環境・エネルギー問題 研究会」	産業研究 所	赤井	超長期エネルギー技術ビジョン
2/11(土)	機械学会 熱・エネルギーシステムのエク セルギー評価研究会	大阪	蘆田	超長期エネルギー技術ビジョンにつ いて
2/14(火)	化工学会東海支部「C STCフォーラム」	名古屋	小野崎	2100年のエネルギー技術
2/20(月)	RITE 「二酸化炭素地中貯 留」国際ワークショップ	虎ノ門パ ストラル	赤井	経済産業省の超長期エネルギー技 術ビジョンとCCS技術の位置付け
3/6(月)	日本経団連 資源・エネルギー対策 委員会	経団連会 館	秋山	エネルギー分野の技術戦略
3/16(木)	東京工業大学 統合研究院「将来エネル ギービジョン研究会」	東京工業 大学	赤井	超長期エネルギー技術ビジョンとエ ネルギー技術研究開発戦略につい て
3/22(水)	大口自家発電施設者 懇話会 平成17年度合同委員 会・講演会	メルパル ク東京	赤井	超長期エネルギー技術ビジョン
3/24(金)	Energy Modeling Forum	スペイン セビリア	黒沢	Energy Technology Vision 2100
以下予定				
5/19(金)	火力原子力発電技術 協会 関西支部定時総 会記念講演会	中央電気 倶楽部 (大阪)	角本	超長期エネルギー技術ビジョン 2100
5/19(金)	日本技術士会 例会	葺手ビル (虎ノ門)	小野崎	エネルギー技術ビジョン 2100

【雑誌等】

雑誌名		著者	タイトル
季報 エネルギー総合工学	Vol.28, No.3, (2005.10)	蘆田	[寄稿]エネルギー分野の技術戦略 マップ策定について
		角本	[調査研究報告]エネルギー分野の 技術戦略マップ策定の背景
日経エコロジー	2006年2月号	(蘆田、 赤井)	総力特集「未来から読み解く進むべ き道・2020年の環境ビジョン」の中 で取り上げられる
エネルギーレビュー	2006.2		[特集] 超長期エネルギー技術ビジョン
		蘆田	エネルギー技術戦略の策定
		赤井	技術戦略ロードマップ －策定の考え方と概要－
		江崎/赤井 /槌屋/星/ 高倉	[座談会] エネルギー技術戦略マップを策定 －2100年に至る見通し－
		荻本	[展望:民生部門] 省エネ、総エネの実施を
		瀬戸口	[展望:運輸部門] 自動車はゼロ排出を目標
		堤	[展望:産業部門] 必要エネ量を70%削減へ
		藤村	[展望:転換部門] 資源・環境制約の克服を
クリーンエネルギー	2006年4月号 (Vol. 15, No.4)	資源エネ ルギー庁	わが国の超長期エネルギー技術ビ ジョン①
太陽エネルギー	Vol.32, No.2 5月掲載予定	角本	(特集:京都議定書発効1年の実績 と各国の取組み) 環境制約・資源制約に対する超長 期エネルギー技術ビジョン
日本エネルギー学会 誌(執筆中)	6月号予定	蘆田、 赤井、 WG 主査 事務局	特集「超長期の視点からのエネルギ ー技術開発戦略」

【報道等】

月／日	新聞名	面	見出し
6/28	時事通信		CO2 の排出ゼロに＝「脱石油」で超長期ビジョン－ 2100 年に照準・経産省※出所不明
6/29	日刊工業新聞		100 年後 CO2 排出ゼロに／エネ庁が超長期ビジョン ※出所不明
7/13	電気新聞	1 面	2100 年 CO2 排出量ゼロ／「脱石油」へ超長期技術開 発目標／エネ庁8月にも公表
7/27	産経新聞	9 面	脱化石燃料へ工程表／2100 年まで3段階／省エネ対 策素案／経産省
7/28	日刊工業新聞	2 面	技術戦略マップ改定案／「情報家電」など追加／産構 審
7/28	電気新聞	2 面	産構審小委／超長期エネ技術戦略マップ／エネ庁か ら状況報告
8/7	毎日新聞	3 面	2100 年 CO2 ゼロに／経産省が長期戦略マップ／塗る 太陽光発電、電気自動車4割・・・
8/30	電気新聞	2 面	超長期技術戦略マップ／作成状況など紹介／エネ総 工研月例研究会
9/13	Asian Wall Street Journal	A10 面	Japan Sets Its Sights on Nuclear Power
10/3	NHK	夕方の ニュース	新エネルギー戦略シンポジウム 当日のエネ総工研シンポジウム赤井委員講演を紹介
10/7	化学工業日報	12 面	2100 年ビジョンいかに／エネ分野の技術戦略マップ／ 経産省
12/5	電気新聞	1 面	エネ技術戦略／中長期ビジョン着手／エネ庁「超長 期」受けて
12/9	電気新聞	7 面	”コプロダクション”実現しエネルギー利用効率高めよ ／東大大学院工学系研究科 堤敦司教授
3/16	日本経団連タイ ムス		資源・エネルギー対策委開催／秋山理事長と懇談／ 今後の課題など聴く
3/17	日刊工業新聞	15 面	エネルギー総合工学研究所理事長 秋山守氏に聞く ／”2100 年ビジョン”に見るエネ・環境技術の方向性は

## おわりに

資源エネルギー庁・総合政策課からエネルギー技術の長期的ビジョンに関する検討について話をしたいとの要請があったのは2004年7月であった。筆者は、それまでにも経済産業省の各方面から依頼され、エネルギー技術開発戦略に関わる調査のとりまとめなどをやってきた経験もあったが、その多くが単に報告書作成作業に終わり、政策に活用されることなく埋もれてしまったものも多かったため、今回の検討の背景となる総合政策課の問題意識および検討結果の活用方策について時間をかけて議論させていただいた記憶がある。

すなわち本報告書は、私にとっては、1年半以上前のディスカッションに端を発した検討課題が、2年度に亘り数多くの方々との作業を経てとりまとめられたものである。私自身は全体WGの主査を務めさせていただいたが、具体的にはフレームワークの検討作業の多くが、このWGのメンバー有志と総合政策課、およびエネルギー総合工学研究所の方々で構成される「幹事会」で行われ、詳細なロードマップは、いわば強引に私がお願いさせていただいた方々に分野別のWGでの検討をとりまとめていただいたものである。WGメンバーには、筆者が過去のお付き合いの経験などに基づいて声をかけさせていただいた方々も多かったが、以前には拝見したことのないほどの熱意を持って、深夜に至るまで、あるいは休日も無視して検討作業に御協力いただいたのを目にし、使命感・やり甲斐を感じておられるのを実感してきた。

前記の活動記録にも見られるように、ここでの検討内容は途中段階も含めて、様々な形で国内および国際的に紹介されてきており、検討経過で得られた知見も様々な形で内外に発信されている。例えば、国内的には、総合科学技術会議・基本政策専門調査会・エネルギー分野推進戦略プロジェクトチームでの研究開発課題の重点化に関する議論に対する経済省としての主張の根拠のひとつとして活用されている。また、国際的には、グレンイーグルスG8の行動計画においてセクター別のエネルギー効率指標（原単位）の比較や、代替政策シナリオの検討がタスクアウトされた国際エネルギー機関（IEA）の担当者は、ここで作成したビジョンやロードマップの英訳版を常に机上に置いて参照しつつ作業を行っているとのことである。

このように、本報告書の内容が現実に活用されており、また今後も活用される見込みとなっていることは、作業に参加した一人として喜ばしい限りである。今後、ここでとりまとめた報告書が生きたドキュメントとして適切なタイミングで改訂されながら継続的に活用され、さらに発展していくことを期待したい。

最後になったが、本報告書の完成に際しては、昨年度の活動にはなるが 2004 年 8 月や 2005 年の正月明けに開催されたワークショップでご講演いただいた方々、具体的な技術の検討に当ってヒアリングという形で知見を提供いただいた方々、さらには、モデルでのシナリオ検証の支援作業、国際動向の精力的な調査、および極めて短期間での報告書の英訳作業をこなしていただいた各企業の方々の御協力も必須であった。委員会メンバーの方々を含め、こういった関係者の方々に対しても作業仲間として厚くお礼を申し上げますと共に、私個人としては、このような楽しい経験に携わる機会を与えて下さった関係各方面への感謝を述べさせていただきたい。

(独) 産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門

分散システムグループ長 赤井 誠

(研究会委員、全体WG主査、民生・運輸・産業・転換WG委員)

委員会およびWG委員の方々をはじめとし、以下の200名を超える多くの方々からの貴重なご意見、多大なご協力いただきましたことに感謝申し上げます(順不同、所属は当時のもの)。

小川様(東洋大)、加藤様(東京大)、佐藤様(日本原子力研究所)、伊藤様(日本エネ経研)、小澤様(岐阜大)、湯原様(東京大)、宇郷様(NEC)、渡辺様(東工大)、近藤様(防衛大)、大和様(東京大)、高原様(明星大)、中西様(電源開発)、日本航空機エンジン協会、石川島播磨重工業(株)、太平洋セメント(株)、産業技術総合研究所、NEDO、国立環境研究所、電力中央研究所、省エネルギーセンター、東京ガス(株)、大阪ガス(株)、松下電器(株)、電源開発(株)松浦火力発電所、長崎鹿町風力発電(株)、三菱重工業(株)長崎研究所、日本経済団体連合会、(株)テクノリサーチ研究所、(株)エス・アール・シー、(株)ジェイ・ケイ・エル、CAC、(株)博報堂、(株)みかんぐみ、JOGMEC、RITE、環境エネルギー政策研究所、(株)日建設計、(株)ダイヤリサーチマーテック、エネルギーレビュー、電力時事通信社、Shell(英国)、DOE(米国)、Energetics社(米国)、NEDOワシントン事務所、EDF(フランス)、仏国経済金融産業省、独国経済労働省/経済技術省、欧州委員会、BP(英国)、英国貿易産業省、英国大使館、Renault(フランス)、経済産業省、内閣府、その他多くの方々、機関

(財) エネルギー総合工学研究所 事務局